

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあらた八街第2事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 24日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 27日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PDCAサイクルや日ごろの児童の様子などの職員間の共有がしっかりなされている。	毎日業務前に1時間のミーティングを行い、情報共有を行っている。	休みの職員にも情報が洩れないよう、毎日ミーティング議事録をラインで共有している。
2	活動プログラムの充実	プログラムごとに担当をつけ、立案から実行まで責任をもって行っている。ミーティングできちんと詳細まで話し合い、職員一同共通理解をしている。	記録をつけ、活動が固定化しないようにしている。ビジョントレーニングを意識した療育活動を行っている。
3	保護者との情報共有	送迎時には子どもの様子を保護者に伝え、電話やメールなどこまめに連絡を取りあうように努めている。	必要に応じて、相談員や、学校など関連機関とも情報を共有し、多角的支援をしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面において、障害の特性に応じていない。	古民家を賃貸しているため、バリアフリー化などが難しい。	玄関に低い踏み台を置き、敷居が高いのを軽減している。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や研修会の実施がコロナ後実施されていない。	コロナ前は保護者向けの研修会等実施していた。保護者が何を求めているのか把握することが必要。	保護者の関心やニーズをくみ取り、保護者向けの研修会を企画、実施していく。
3	安全計画、BCP訓練などに関する保護者への周知が足りない。	職員間で定期的に行っているBCP訓練や、安全年間計画について保護者へ説明する機会がない。	面談や保護者会などの際にしっかり説明をし、情報提供をしていく。